

# イデックスオイルレポート ~For a month~

2023年2月1日作成 (株)新出光

## 【月次概況】

●第1週、週末1/6のWTI原油は、先週比6.49ドル安の73.77ドルとなりました。中国メディアの財新と米S&Pグローバルが3日に発表した12月の中国製造業購買担当者景況指数(PMI)は49.0と、前月から一段と悪化。景気の拡大・縮小を判断する節目の50を5カ月連続で割り込んだ。これを受け、エネルギー消費大国である同国の景気減速に対する懸念が広がり、売りが優勢となった。国際通貨基金(IMF)のゲオルギエフ専務理事が1日、米テレビで、世界成長を牽引する米国や欧州、中国の経済活動が低迷する中、2023年は大半の国にとって厳しい1年になるとの見解を表明したことも相場を重しとなった。

●第2週、週末1/13のWTI原油は、先週比6.09ドル安の79.86ドルとなりました。中国当局による新型コロナウイルス防疫措置の緩和を受け、経済活動の正常化への動きに伴うエネルギー需要回復への期待が強まっている。12日発表された米消費者物価指数(CPI)がインフレの鈍化傾向を示したことを受け、米連邦準備制度理事会(FRB)が2月初めの次回金融政策会合で、利上げ幅を縮小するとの見方が台頭。これを受け、足元で主要通貨に対するドルの先安観が広がり相場の支援要因となっている。

●第3週、週末1/20のWTI原油は、先週比1.45ドル高の81.31ドルとなりました。石油輸出国機構(OPEC)と国際エネルギー機関(IEA)は今週それぞれ公表した月報で、今年は新型コロナウイルス防疫規制の解除を進める中国の景気が回復し、エネルギー需要が増加する算が大きいとの分析を明らかにした。また、欧米のリセッション(景気後退)に対する強い懸念が和らいでいることも相場を支援。米連邦準備制度理事会(FRB)のウォラー理事はこの日の講演で、前日のプレイナー副議長に続き、「ソフトランディング(軟着陸)」の実現について楽観的な見解を示した。こうした中、午前の相場は高値高を背景に一時マイナス圏に沈んだものの、その後は持ち直し、一時81ドル台後半まで上昇した。

●第4週、週末1/27のWTI原油は、先週比1.63ドル安の79.68ドルとなりました。前日発表された2022年10~12月期の米実質GDP(国内総生産)速報値は市場予想を上回り、2四半期連続でプラス成長を確保する強めの内容となった。一方、中国では厳格な新型コロナウイルスの防疫措置を解除する動きが進んでいる。消費大国の米中両国でエネルギー需要が向上との期待感が追い風となり、序盤の相場はプラス圏で推移する場面もあった。しかし、この日の外国為替市場では、対ユーロでドル高が進行。ドル建て商品の割高感につながり、原油の売りが広がった。また、前日まで続伸していた反動から週末前に利益確定の売りも出やすかった。

|  |      |       |         |     |      |        |         |     |       |
|--|------|-------|---------|-----|------|--------|---------|-----|-------|
|  | 1月平均 | WTI原油 | 78.16ドル | 前月比 | 1.64 | 為替 1ドル | 131.35円 | 前月差 | ▲4.74 |
|--|------|-------|---------|-----|------|--------|---------|-----|-------|

| 日付        | 補助金  | 変動幅  | 変動幅  |
|-----------|------|------|------|
| 1/1~1/4   | 14.8 | -1.0 | -1.0 |
| 1/5~1/11  | 14.8 | +2.0 | +2.0 |
| 1/12~1/18 | 15.6 | -2.0 | -2.0 |
| 1/19~1/25 | 14.8 | +0.5 | +0.5 |
| 1/26~1/31 | 17.5 | +2.5 | +2.5 |

【単位:円/KL】

| メニュー価格推移<br>平水湾内T/S持ち届け<br>(サイト60日) | 0.5HPP             |         | ENEOS LS船用燃料油基準価格 |                              |
|-------------------------------------|--------------------|---------|-------------------|------------------------------|
|                                     | 2022年10-12月C重油決定価格 | 103,180 | 110,790           | (103,180(メニュー)+7,610(プレミアム)) |
|                                     | 2023年1-3月C重油仮価格    | 84,240  | 91,510            | (84,240(メニュー)+7,270(プレミアム))  |
|                                     | 2023年1-3月C重油決定価格   |         |                   | (メニュー) +(プレミアム)              |
| 決定価格10-12月比                         |                    |         |                   |                              |

【単位:円/KL】

| 内航燃料油価格推移   | 適合油価格              |         | A重油     |
|-------------|--------------------|---------|---------|
|             | 2022年10-12月C重油決定価格 | 115,700 | 115,600 |
|             | 2023年1-3月C重油仮価格    | 96,410  |         |
|             | 2023年1-3月C重油決定価格   |         |         |
| 決定価格10-12月比 |                    |         |         |

| CIF価格推移 | 年/月   | 9桁速報 | 原油CIF価格<br>円/kl | 通関CIF<br>ドル/bbl | 為替レート<br>円/ドル | 原油CIF価格<br>前月比 |
|---------|-------|------|-----------------|-----------------|---------------|----------------|
|         | 22/12 | 9桁速報 | 82,443          | 94.99           | 137.98        | -9.901         |
|         | 23/1  | 最終予測 | 72,657          | 86.95           | 132.84        | -9.786         |
|         | 23/2  | 展望   | 70,256          | 85.92           | 130.00        | -2.401         |
|         | 23/3  | 展望   | 68,486          | 87.10           | 125.00        | -1.770         |

## 【次世代エネルギー】<核融合発電開発加速、実用化前倒しも>

究極のエネルギー技術といわれる核融合発電が実現に向けて大きく歩み出した。22年12月、米エネルギー省は燃料にレーザーを照射する方式で、米国の研究所が初めて投入エネルギーより大きなエネルギーを取り出すことに成功したとする歴史的な成果を発表した。同じ方式を手掛ける企業などの開発が加速し、50年以降といわれる実用化が早まる可能性もある。核融合発電は、燃料となる重水素と三重水素の原子核同士を超高温のプラズマ状態にすることで融合させてヘリウム原子に変え、その際に発生するエネルギーで発電する。1グラムの燃料で石油8トン分のエネルギーを取り出せる。燃料供給を止めればすぐ反応が止まり、放射性廃棄物が少なく、従来の原発よりも安全性が高いとされる。歴史的な成果は米ローレンス・リバモア国立研究所の国立点火施設(NIF)の実験で達成した。レーザーを燃料に照射し、投入エネルギーの1.5倍の出力を取り出した。慶応義塾大学の岡野邦彦訪問教授は「NIFの当初の目標である投入エネルギーの5倍には届いていないが、正しい方向に進んでいる証しだ」と評価する。大阪大学や米ロチェスター大学、米フォーカスト・エナジーなどレーザー核融合を研究する機関や企業は多い。阪大発スタートアップ、エクスフュージョン(大阪府吹田市)の松尾一輝最高経営責任者(CEO)は「レーザー方式は1度のブレークスルーで指数関数的に出力を高められる」と開発の加速に期待する。核融合にはもう一つの方式がある。磁場でプラズマを閉じ込める「トカマク型」で、日米欧中などが手掛ける大型プロジェクト「国際熱核融合実験炉(ITER)」が進む。2兆円超を投じる計画だ。投入エネルギーを上回る出力を確認できれば実際に発電する原型炉を建設する見通し。レーザー方式との競争が目まぐるしくなっている。

出典 ①<https://www.nikkei.com/article/DGXZQUC2290POS2A221C2000000/> ②[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shinkou/iter/019.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/iter/019.htm)

## 【2月価格変動要因】

●需要:中国リオープンに伴う燃料需要拡大への期待感が原油相場を牽引。人流の増加は、春節におけるモビリティの増加によって確認されている状況。個人消費、サービス業の回復が春節明けに製造業の本格的な経済活動の再開まで波及していくかが焦点。

●供給:割安なロシア産原油はアジア圏にて需要旺盛であり今月のバルト海沿岸における積み出し量は、前月比50%拡大する見込み。一方で供給増は、EUによるロシア産石油製品価格への上限設定を控えての動きと指摘される。2/1のOPECプラスのパネル会合では、現行方針の維持が示される見通しで供給面は依然タイト。

●在庫:欧米を中心に気温が低下し厳冬化傾向を強めている状況でヒーティングオイル中心に在庫の取り崩しが進む可能性がある。米国の製油所やパイプラインの凍結が供給面の混乱を引き起こすことも想定され在庫減少のリスクを抱える。

●リスク資産:2/2にFOMC、2/3には雇用統計が予定されている他、米企業決算の発表が連日控えておりリスク資産は全般上値の重い状況。年初から月央にかけて投機筋ロングが強かった。振り返ってみればどちらかといえば調整売りに警戒。

●テクニカル:原油価格は、上昇も年初来プレントが、終値で100日移動平均の上抜けは、未達。イベントウィークのさなか方向感を探る動きとなっているが、結果次第ではどちらにも転びやすい。

●地政学:イスラエルで極右政権が誕生。30日には、イスラエルの無人機がイランの軍事工場を攻撃しており中東地域における緊張が高まっている。ウクライナ情勢も好転の気運之しく東欧、中東、アジア圏の情勢に警戒が強まる。

## <2月価格見通し> (単位:US/bbl)

|         | Brent | WTI |
|---------|-------|-----|
| High    | 90    | 85  |
| Average | 85    | 77  |
| Low     | 70    | 60  |

| 日付 | 国 | 2月経済指標カレンダー                  | 日付 | 国 | 2月経済指標カレンダー               |
|----|---|------------------------------|----|---|---------------------------|
| 1  | 欧 | 1月消費者物価指数(HICPコア指数、速報値)      | 3  | 米 | 1月ISM非製造業景況指数             |
| 1  | 米 | 1月ADP雇用統計                    | 14 | 欧 | 10-12月四半期域内総生産(GDP、改定値)   |
| 1  | 米 | 1月ISM製造業景況指数                 | 14 | 米 | 1月消費者物価指数(CPI)            |
| 1  | 米 | 米連邦公開市場委員会(FOMC)、終了後政策金利発表   | 15 | 米 | 1月小売売上高                   |
| 1  | 米 | パウエル米連邦準備制度理事会(FRB)議長、定例記者会見 | 22 | 欧 | 米連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨      |
| 2  | 欧 | 欧州中央銀行(ECB)政策金利              | 23 | 欧 | 1月消費者物価指数(HICP、改定値)       |
| 2  | 欧 | ラガルド欧州中央銀行(ECB)総裁、定例記者会見     | 23 | 米 | 10-12月四半期実質国内総生産(GDP、改定値) |
| 3  | 米 | 1月失業率                        | 24 | 米 | 1月個人消費支出(PCEデフレーター)       |
| 3  | 米 | 1月非農業部門雇用者数変化                | 24 | 米 | 1月新築住宅販売件数                |
| 3  | 米 | 1月平均時給                       |    |   |                           |